

旅行取扱状況の概観（平成29年8月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱いは、一般団体は前年比40.9%と前年を下回り、学生団体は同97.5%と前年を下回り、団体旅行合計で同65.5%と前年を下回った。企画旅行については前年比122.4%と前年を上回り、個人旅行については同106.4%と前年を上回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比99.7%と前年並となった。

国内旅行の取り扱いは、一般団体は前年比109.4%と前年を上回ったが、学生団体は同82.8%と前年を下回り、団体旅行合計で同93.7%と前年を下回った。企画旅行については前年比96.5%と前年を下回り、個人旅行については同96.4%と前年を下回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比96.1%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比122.3%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の8月の総取扱額は前年比98.0%となり、前年を下回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、学生団体は修学旅行の取扱いなどが増加したが、語学研修などの取扱人数の減少により、前年比97.9%と前年を下回り、一般団体は前年開催のリオオリンピック・パラリンピックなどの影響が大きく、同40.9%と前年を下回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比65.7%と前年を下回った。

国内団体については、学生団体はスポーツ大会などの取扱い人数の減少により、前年比82.8%と前年を下回り、一般団体はイベント・大会などの取扱の増加により、同110.9%と前年を上回った。この結果、国内団体旅行合計で前年比94.2%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比110.5%と前年を上回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトについては、方面別取扱人数の状況では、沖縄、南紀方面などが前年を上回ったが、他の方面が伸び悩み、取扱額で前年比94.1%と前年を下回った。

ホリデイについては、方面別取扱人数の状況では、アメリカ方面が前年を下回ったが、その他の方面はほぼ前年を上回り、取扱額で同119.4%と前年を上回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、中国・九寨溝での地震やバルセロナのテロ発生などの外的要因はあったが、ヨーロッパ、東南アジア、中国（九寨溝を除く）方面が好調に推移した。バス旅行を除く国内旅行部門は、北海道の道東、北東北、南東北、山陰、山陽方面が好調に推移したが、前年の「ふっこう割」の影響による九州方面は厳しかった。バス旅行部門は、台風に伴うツアー催行中止などの影響もあり、全体的に伸び悩んだ。テーマ旅行部門は、海外ではアフリカ等のSITエリアが好調に推移した。この結果、総取扱額は前年比106.7%となり、前年を上回った。

以上